

【Insectopia (インセクトピア)】とは: insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



建物緑化が進む持続可能な都市づくり

都市部では人口が増え続けています。人々が暮らしやすいように都市開発されるほど、『緑』は減少し、都市部の気温が上昇します。そして、多くの熱環境問題を引き起こします。本号では、それらの改善に大きな影響を与える『建物の緑化活動』に着目し、その実態や課題について紹介します。

都市緑化とは

都市緑化とは、都市に草や木などの植物を植え、緑を増やし、その後の育成を管理をすることです。『緑』には、CO₂吸収効果があり、地球温暖化防止の一助をなすとともに、温度や湿度の緩和効果があり、都市の気象の急激な変化を和らげます。また、豊かな緑の生態系を創出することは、生物の多様性を確保することでもあり、豊かな都市生活を実現することに大きく寄与します。SDGsの2030年までに達成すべき17の目標に『住み続けられるまちづくりを』、『気候変動に具体的な対策を』という項目がありますが、都市緑化はこの目標を達成すべく活動とも言え、持続可能な街づくりの重要な役割を担っています。

進む緑化活動

東京では、過去100年の間で約3℃気温が上昇しました。中小規模の都市の平均気温上昇が約1℃であるのに比べて、大きな上昇です。これは、地球温暖化の影響もありますが、ヒートアイランド現象による影響も大きく現われています。ヒートアイランド現象とは、都市の気温が周辺の郊外に比べて高くなる現象で、熱中症などの健康被害や、集中豪雨の増加、生態系への影響などが問題となっています。国をはじめ行政や企業などはこれらの問題の解決を図ろうと、都市緑化の推進に取り組んでいます。国土交通省が公表しているデータによると、2021年は屋上緑化約144,000㎡、壁面緑化約28,000㎡が新たに創出されました。また、2019年にボストン大学などの研究者が地球全体の3分の1で緑化が進んでいると公表しました。

建物緑化が見出すもの

緑化活動の一環として『建物緑化』が挙げられます。建物緑化とは、景観美化や断熱性の向上などを目的に、建物の屋上や外壁に植栽して緑化することです。建物緑化には、夏の日射しや暑さから建物を守る『遮熱効果』と、冬の冷気から建物を守る『保温効果』があります。国土交通省が公表しているデータによると、屋上緑化を行うことによって、1日あたり約4%のエネルギーが削減されることが分かっています。屋上緑化は植物が雨水をある程度せき止め、降水量が多い時の浸水被害発生リスクを軽減する効果も期待できます。また、一般的に屋上には雨漏りを防ぐための防水層が施工されており、直射日光や雨などにより経年劣化してしまいましたが、屋上緑化で表面を保護すれば耐久性が強化され、雨漏り防止効果も高まります。

建物緑化の課題

一方、緑化により、温度の変動が緩やかになった建物は、虫へ豊かな生息地を提供し、益虫だけではなく害虫の増殖や侵入を助長する可能性があります。これらの問題は、適切な植物の選択、定期的なメンテナンス、必要に応じた害虫対策などが重要です。シェルグループでは建物の建築計画段階から『予防』の観点でアプローチし、害虫の侵入や繁殖を抑止するコンサルティング事業を展開しています。持続可能性を考慮したこれら未然の対策が人とその他の生物たちの棲みやすい環境づくりのきっかけになると共に、豊かな未来都市創造の一助になると私たちは考えています。



トコジラミの正しい知識を学ぶ オンライン学習ツール『e-Learning』

「人と自然が共存できる、都市衛生の未来を創造する」
シェルグループはこれをミッションに掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。化石由来の殺虫剤使用量を低減し、人体や自然環境への配慮を可能とする『予防』の観点を実装することにより、より善い環境を創造するため、私たちは次の5つのステップを提唱しています。

1.啓蒙、2.教育、3.予防、4.早期発見、5.施工

今回は、シェルグループが提供する『啓蒙』『教育』について、商材紹介を交えてお伝えします。

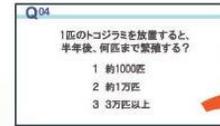
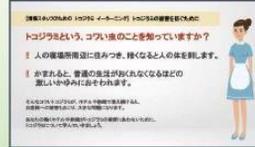
前号でお伝えしましたが、一般の方々を対象としたアンケートを通して、トコジラミの存在やその被害に関する認知は比較的高いが、その具体的な特性や対策方法に関する知識は充分ではないことが明らかになりました。トコジラミは一匹持ち込まれると半年で約3万匹に拡大するほどの繁殖力を持っています。拡大を防止するためには、早期発見と発見時の対応方法を学ぶことが重要です。

そこでシェルグループは『e-Learning for Bed Bug (以下: イーラーニング)』を提供しています。イーラーニングは宿泊事業者向けのオンライン学習ツールで、『現場スタッフコース』、『管理職・マネージャーコース』の2コースを用意しています。受講者に合わせた講義内容を受講することが可能で、ハウスキーパーやマネージャーの知識習得や安全管理講習、新規スタッフの受入れ研修など、様々なシーンでの活用が見込めます。『現場スタッフコース』はトコジラミの基本知識とトコジラミ発見時の対処方法などを学習できます。『管理職・マネージャーコース』は『現場スタッフコース』

□イーラーニング概要



基礎知識をわかりやすく



楽しいクイズ形式



重要ポイントを何度でもチェック可能

の内容に加え、更に専門的な知識を学習することができます。

「e-Learningの特徴」

- ・パソコン、タブレット、スマートフォン等を使っていつでもどこでも受講できる
- ・解説+クイズ+小テストを組み合わせた内容で、自己習熟度をチェックしながら効率よく学べる
- ・一度にすべての講義を終了できなくても、何度でも途中から受講再開&振り返り確認できるため、重要ポイントのおさらいができる

まずトコジラミの正しい知識を学び、被害をなるべく拡大させない対応を行うことが、宿泊者と宿泊施設を守るために重要な課題です。シェルグループはこの課題に向き合うため、『啓蒙』と『教育』を提唱し、イーラーニングを通して実装していきたいと考えています。

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
興南公園昆虫館館長



オカモトトゲエダシャク

(岡本棘枝尺)

チョウ目シャクガ科

学名: Apochima juglansiaris

オスの開帳33~45mm、メス46mm
ほどの早春に出現するシャクガの一種。前翅を立て、後翅を腹部に沿わせて折りたたむ独特の姿勢をとる。オスは各地でよく見られるがメスは灯火に飛来しないためほとんど見つからない。春の訪れを感じる昆虫の一つ。

Information

●メディア掲載情報

代表の岡部が不定期に更新しているnote。
今回で5周年を迎える害蟲展について、岡部の想いやコンセプトが記述されています。是非ご覧ください。
<https://note.com/okb375/n/n2fec06f7fb8f>



●Pick up 展示会情報

サステナブルグッズ EXPO【春】

(※弊社は出展しておりません。)

会期: 2024年3月13日(水)~3月15日(金)

会場: 東京ビッグサイト

建築・建材展2024

(※弊社は出展しておりません。)

会期: 2024年3月12日(火)~3月15日(金)

会場: 東京ビッグサイト 東展示場

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

